

2018福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや 開催要項

1 メインテーマ

「共生文化創造への途」

2 開催趣旨

近年、地域共生社会の実現に向けて、「共に生きる力」を育むために地域や学校、社協では様々な取組みが行われています。

そのような状況の中、愛知県内の実践事例などを学ぶとともに、参加者同士が情報交換を行い福祉教育・ボランティア学習を広げていくことを目的として開催いたします。

3 主 催

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

日本福祉教育・ボランティア学習学会中部ブロック

4 共 催

あいち・なごや福祉教育・ボランティア学習研究会

5 後 援（予定）

日本福祉大学、愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会
東海市、東海市教育委員会

6 日 時

平成30年2月10日（土）午後1時～午後5時（日程・プログラムは別紙のとおり）

7 会 場

日本福祉大学 東海キャンパス（愛知県東海市大田町川南新田 229 番地）

8 参加対象

（1）県内の小中高等学校教諭・県市町村教育委員会職員の方

（2）県内の市町村社会福祉協議会の福祉教育やボランティア等の担当職員の方

（3）福祉教育実践に関わるボランティアや福祉施設職員及び福祉教育に関心のある方等

9 定 員

200名

10 参加費

無 料

11 参加申込

（1）参加者の方は、別紙の参加申込様式1により市町村社協あてに、平成30年1月19日（金）までにお申し込みください。

（2）市町村社協は上記（1）及び貴会の参加者を取りまとめのうえ、平成30年1月25日（木）までに本会地域福祉部あてにお申し込みください。

12 申込先・問合せ先

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 地域福祉部

〒461-0011 名古屋市東区白壁1丁目50番地

TEL：052-212-5502 FAX：052-212-5503

2018福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや日程・プログラム

○12:30-13:00 受付

○13:00-13:15 開会・オリエンテーション

○13:15-14:45 全体会

鼎談『地域と共にはぐくむ共生文化の創造～「みんなの楽校」の実践事例に学ぶ～』

【趣旨・概要】地域共生社会の実現にむけて、様々な取り組みが始まっています。一方、学校での福祉教育は広がりを見せていないのが現状です。これでは子ども達が地域の優しさや難しさを捉える事、共生社会を生きてゆく自分自身の未来について考える事にはつながらないように思います。私たちは地域の仲間である子どもたちと一緒に、どのような未来を創造していくのでしょうか。

春日井市立藤山台中学校では、「みんなの楽校」を合言葉に中学生が地域で活動しています。そんな活動を教育的に見守る教員（学校）、住民（地域）の暖かさ。子ども達もたらす地域への愛着。私たちはこの学校と地域の営みから、共生する楽しさや、共生の文化が育まれる途を学びたいと思います。

登壇者 伊藤 孝之 氏（春日井市立藤山台中学校校長）

阿部 國枝 氏（藤山台地区社会福祉協議会 会長）

進行 野尻 紀恵 氏（日本福祉大学／日本福祉教育・ボランティア学習学会理事）

○14:45-15:00 休憩

○15:00-17:00 分科会（1～4）

第1分科会（企画 名古屋市社会福祉協議会）

「ボランティアを通じた共生文化創造に向けて～ボランティアの本質を深める～」

【趣旨・概要】今日のボランティア活動は福祉分野のみならず様々な分野、多様な担い手に広がり、他者のための活動にとどまることなく、自らの地域づくりにもつながる活動となっています。その一方で、安易なボランティアの活用など、ボランティアの捉え方が一部で変化している状況もあります。

そこで、本分科会では愛知県内のボランティア実践者やその活動を支援する社協のこれまでの実践の歩みや課題から、今一度ボランティアの役割や共生文化の創造について、ともに考える機会にしていきたいと思います。

報告者 近藤 京子 氏（地域ボランティアかがやき代表）

織田 元樹 氏（NPO 法人ボラみみより情報局代表理事）

中村 弘佳 氏（名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター所長）

コーディネーター 原田 正樹 氏（日本福祉大学／日本福祉教育・ボランティア学習学会会長）

第2分科会（企画 愛知県社会福祉協議会）

当事者講師と共につくる福祉教育プログラム

【趣旨・概要】福祉教育においては、子どもや大人、学校や地域等の対象やフィールドに関係なく、プログラムづくりの段階から当事者と共につくりあげることが重要です。

しかし、普段から当事者と共につくる福祉教育プログラムについて、その意義や効果等をふりかえりできているのでしょうか。

そこで、本分科会では実際に福祉教育に関わる当事者講師に登壇いただき、福祉教育プログラムで当事者が関わる意義だけでなく、効果等も含めて参加者とともに考えます。

登壇者 白石 清子 氏（特定非営利活動法人愛知県難聴・中途失聴者協会）

山田 弘 氏（アンサンブル・アミー 事務局長）

コメンター 調整中

進行 三好 宏和 氏（AJU自立の家 わだちコンピュータハウス）

第3分科会（企画 学会中部ブロック）

学校・社協・地域がつながる福祉教育～「ともに生きる力を育む」学びの実践から～

【趣旨・概要】子ども達が「ともに生きる力を育む」ためには、学校と地域がつながり、どのように福祉教育に取り組むかがカギとなります。地域の多様な方々との出会いや関わりを通じた学びの機会を作るためには、学校だけでなく地域とつながりがある社会福祉協議会と協働することで、より豊かな学びへと高まります。

本分科会では、学校・社協・地域が協働した小学校と高校の実践事例とディスカッション等を通して、「つながる意義」や「つながるために必要なこと」を共有し、「ともに生きる力を育む」福祉教育の展開について参加者とともに考えます。

報告者 森 冬起 氏（岩倉市立岩倉南小学校教諭）

石井 太一 氏（岩倉市社会福祉協議会職員）

佐々木 早苗 氏（愛知県立古知野高校生活文化科教諭）

コーディネーター 小林 洋司 氏

（日本福祉大学／日本福祉教育・ボランティア学習学会特任理事）

第4分科会（企画 学会中部ブロック）

「地域包括ケア」の推進プロセスにおける学び合い

【趣旨・概要】困りごとを抱えた人を地域全体で支える「地域包括ケア」を進めるためには、住み続けたいと思う地域の姿を地域住民と行政、医療・福祉・介護専門職、NPO、教育機関等が共有し、地域の課題に基づいて支援のための仕組み・サービスを、協働・多職種連携でつくりだしていくことが重要であると言われています。

本分科会では、知多半島で「0～100歳の地域包括ケア＝支え合うコミュニティづくり」をめざして、人づくりに取り組むNPO法人地域福祉サポートちたの事例を中心に紹介します。支え合うコミュニティづくりを進めるための協議や学びの場づくりとそこでの想いの共有を通じて、地域住民や多様な分野の専門職の意識や行動がいかに変化したのかに注目して、学び合いについて参加者とともに考えます。

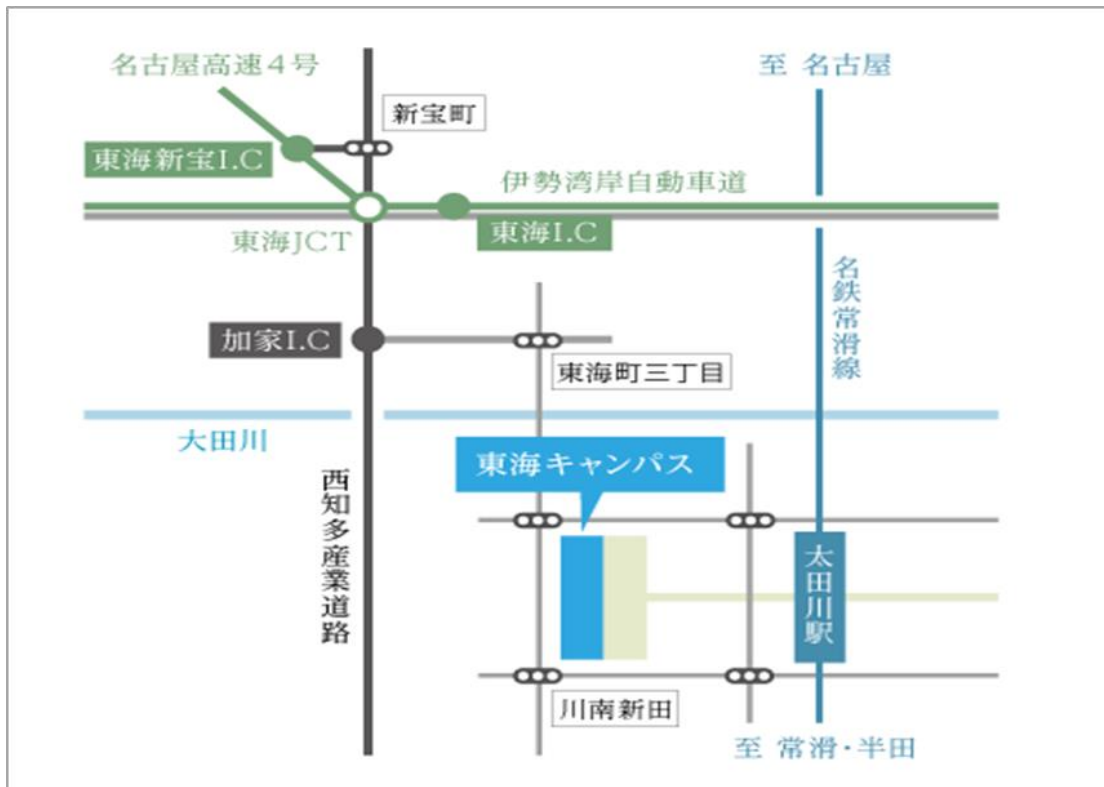
報告者 市野 恵 氏（特定非営利活動法人地域福祉サポートちた代表理事）

山崎 紀恵子 氏（認定特定非営利活動法人絆代表理事）

認定特定非営利活動法人絆 チームにじメンバー

コーディネーター 末永 和也 氏（日本福祉大学／日本福祉教育・ボランティア学習学会）

<会場案内>



所在地 愛知県東海市大田町川南新田 229 番地

アクセス <名鉄>常滑線・河和線「太田川駅」下車 西口から徒歩5分

※大学には一般の駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。